

「アートとソーシャルデザイン」 研究会

全4回

第4回

手話は 伝達手段を こえる?!

美術と手話プロジェクト
の試み

テーマは、
参加のデザイン。

日本各地で起きている「障害×アート」の先駆的でユニークな取り組みを紹介し、ソーシャルデザインのための新しいヒントをみつける情報交流の場です。2016年3月に開催したフォーラムの後、より丁寧に活動の立ち上がり、活動の方法、活動の意義、活動を通じた社会の変化を確認したいとご要望をうけてきました。そこで2017年度は、プログラムごとにじっくりと話をする場を設けることとしました。今年度のテーマは「参加のデザイン」。

個性と熱意に満ちた実践者たちと交流しながら、障害のある人と一緒に芸術文化を通じて、人と社会の可能性を探ってみませんか。みなさまの参加をお待ちしています。

2017年
8月26日(土)
14:00-17:00 (13:30開場)

2016年1月23日、東京都庭園美術館で「もしもガレがガラス職人に手話で指示を出したとしたら」というワークショップが行われました。美術と手話プロジェクトと東京都庭園美術館による協働の企画です。

美術鑑賞において聞こえない人は、「見ることができるから特別な配慮は必要ない」と思われがちですが、美術館には、聞こえないことによる不便がさまざまにあります。例えば、受付などでコミュニケーションがスムーズに行かない、音声ガイドやガイドツアーは話が聞き取れない・聞き取りにくい、美術用語の手話が少ない、などです。東京都庭園美術館では、そうした当事者のグループとともに課題をわかちあい、その後、この企画の協働に至りました。ワークショップではガラス職人の専門用語を表す、新しい手話の表現を作りました。用語を曖昧に理解しては手話の表現を作ることができません。手話を作ろうとする過程で、難しい専門用語の意味が丁寧に解き明かされ、聞こえない人にとってだけでなく、聞こえる人の理解もまた深まりました。美術と手話プロジェクトの実践を通して、多様な人が楽しむことができるアートのあり方やその可能性について考えます。

千代田線 湯島駅 Yushima station on Chiyoda line	銀座線 上野広小路駅 Ueno-hirokoji station 大江戸線 上野御徒町駅 Ueno-okachimachi station	田川商店 Tagawa Shouten	JR 御徒町駅 Okachimachi station
三組坂下 Mikumisakashita	かつ進 Katsushin	銀座山形屋 Ginza Yamagataya	中央通り Chuo-dori
練成公園 Rensei Park	3331 Arts Chiyoda 入口 enter	ファミリーマート FamilyMart	4出口 4 exit
一心 Isshin		すき家 Sukiyaki	秋葉原 Akihabara
ジョンソン Johnson's		焼肉屋さかい Yakinikuya Sakai	秋葉原 電気街 Akihabara Deinki Gai (Akihabara Electric Town)
妻恋坂 Tsumagoizaka	蔵前橋通り Kuramaebashi-dori	名代たいやき Myodai Taiyaki 神田達磨 Kanda Daruma	

会場：
アーツ千代田 3331 A/A gallery (2F)

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-11-14

電車 東京メトロ銀座線末広町駅 4番出口 徒歩1分
東京メトロ千代田線湯島駅 6番出口 徒歩3分
都営大江戸線上野御徒町駅 A1番出口 徒歩6分
JR御徒町駅 南口 徒歩7分
JR秋葉原駅 電気街口 徒歩8分
JR御茶ノ水駅 聖橋口 徒歩15分

※駐車場はございません。
周辺にある有料駐車場
をご利用ください。

話題提供者



八巻香澄さん

東京都庭園美術館学芸員

1978年福島県生まれ。東京大学美学藝術学専修課程卒業。ミュージアムマネジメントのための各種リサーチや展覧会実務などの経験を経て、2006年より現職。

2014年度から新たにラーニング・プログラム「ようこそ あなたの美術館へ」を立ち上げ、来館者の美術館体験をより能動的にするデザインを模索している。



美術と手話 プロジェクト

「聞こえない人・聞こえにくい人」にとっての美術鑑賞へのニーズを広く伝え、美術・美術館の楽しみ方を探求している。鑑賞プログラムの整備、美術用語の手話化、種々のワークショップ、美術館等への企画協力などを行なっている。

主催：
NPO法人エイブル・アート・ジャパン

協力：
一般財団法人たんぼの家

助成：
アーツカウンシル東京
(公益財団法人東京都歴史文化財団)



障害に関わるサポートについて

手話通訳が必要な方は、開催の2週間前までにお知らせください。その他、セミナー参加において必要なサポートがあればNPO法人エイブル・アート・ジャパン事務局までお気軽にご連絡ください。

ABOUT US

アートには人を癒し、元気づけ、隠された可能性を広げていく力があります。障害の有無や種別、年齢、人種、ジェンダー、文化など、すべての違いをこえて、人と人をつなぐ力があります。エイブル・アート・ジャパンは、そうしたアートの力を信じ、アートを通じてすべての人が幸せに生きることのできる社会の実現をめざして1994年に誕生しました。アートを通じた自己表現の機会をつくること、障害のある人たちとともに豊かな暮らしを考え、地域のなかから実践していくこと、誰もがそれぞれの個性を尊重し、その存在が認められる、真の意味での豊かな社会の構築に貢献することをめざし、日々、活動を推進しています。

A B L E
A R T
J A P A N

「アートとソーシャルデザイン」研究会 第4回

手話は伝達手段をこえる?! —美術と手話プロジェクトの試み— 参加のご案内

対象 障害のある人、芸術文化関係者、福祉・医療関係者、行政関係者、企業関係者、教育関係者、NPO関係者、学生等。

定員 30人

参加費 一般: 2,000円
学生: 1,500円
エイブル・アート・ジャパン会員: 1,000円
※当日、会場にて直接お支払ください。

お申し込み方法 電話、Fax、E-mail、郵送またはウェブサイト上の申し込みフォームから、下記のお申し込み事項①～③をお知らせください。
①お名前 ②所属先・活動内容
③連絡先(住所/電話、Fax、E-mailのいずれか)

申し込み締切 2017年8月10日(木)
※定員になり次第、お申し込みを締切らせていただきます。早めにお申し込みください。

お問い合わせ・お申し込み先 NPO法人 エイブル・アート・ジャパン
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14 アーツ千代田3331 #208
Tel. 03-5812-4622 Fax. 03-5812-4630 E-mail. office@ableart.org

参加申し込みフォーム

お名前 [ふりがな] 所属先・活動内容等

ご住所 [ご自宅以外の場合は団体名までお書きください]

電話 Fax. E-mail.

障害に関わるサポートの有無 [研究会参加において必要なサポートがあればお知らせください]

この研究会をお知りになったきっかけ

※お預かりした個人情報は本研究会の受付事務においてのみ使用させていただきます。

※やむを得ない事情により、プログラムの一部を変更させていただく場合があります。